

ふれあい

第10号

題字・川口遊魚さん



ふれあいカローリング大会：平田地区

この会報紙は、**赤い羽根共同募金**の配分金で発行しています。



- 社協会費・日赤社費納入のお願い 2~3
- 自分自身の健康のために「介護予防講座」 4
- 私たちに相談してください「介護サービス課事業紹介」 5
- 地域の福祉力の向上を目指して
学区地区社協の活動紹介
(大沢地区社協・松原学区社協・南遊佐学区社協) 6~7
- 「伝言板」「広がる善意の輪」 8
- コラムふれあい 8

平成20年度 社協会費 日赤社費 納入のお願い

社会福祉協議会は、社会福祉法において地域福祉を推進する中核的な団体として明確に位置づけられた、「住民誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進」を使命とする組織です。

少子高齢化の中、ますます多様化する地域福祉ニーズに対応するため、公的サービスの充実に加え、地域住民の支え合いが大変重要となっております。地域福祉活動の推進役として社会福祉協議会の責任は、ますます重要になってきています。

平成十八年度には、本市における地域福祉活動の指針となる「地域福祉活動計画」を策定しました。この計画は、地域での支え合い、見守りの福祉ネットワークなど、学区・地区社会福祉協議会を中核とした住民参加による「新・草の根事業」を積極的に展開することを重視しています。

皆様から納入していただく会費は、「地域福祉活動計画」の各種事業の実施や、地域住民への総合的支援を推進するための貴重な財源となります。

平成20年度 主な地域福祉活動

酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部
◎新・草の根事業	◎新・草の根事業	◎新・草の根事業	◎新・草の根事業
○23学区社協の活動支援	○4地区社協の活動支援	○4地区社協の活動支援	○地区社協の活動支援
・見守りネットワーク支援事業	・見守りネットワーク支援事業	・福祉隣組の養成と研修会	・研修会、福祉座談会 (10地区で開催予定)
・合同研修事業	・合同研修事業 (資質向上の研修会)	・福祉協力員の養成と研修会	・ふれあい(老人)給食事業
・ふれあい(老人)給食事業	・ふれあい(老人)給食事業	・福祉隣組の見守り支援	・地域あんしん事業
・地域あんしん事業	・地域あんしん事業	・合同研修会	・地域交流事業(いきいき サロン、高齢者スポーツ等)
・地域交流事業(サロン)	・地域交流事業 (うきうきサロン)	・ふれあい(老人)給食事業	・介護予防講座事業
・介護予防講座事業	・介護予防講座	・地域あんしん事業	
		・自治会サロンの普及	
		・介護予防講座事業	

○学区・地区社協コミュニティワーカー配置モデル事業及び地区ボランティアセンター設置モデル事業の検討、準備

○共同募金運動、歳末たすけあい募金運動 ○相談事業 ○会報紙の発行(4回) ○その他

今年度、皆様からご協力いただく社協会費は、全体で千八百九十一万五千円を予定しています。四支部の会費の額は下表のとおりです。

なお、会費の統一化については、今後二カ年をかけて社協役員や団体、会員の皆様のご意見を伺い調整を図る考えです。

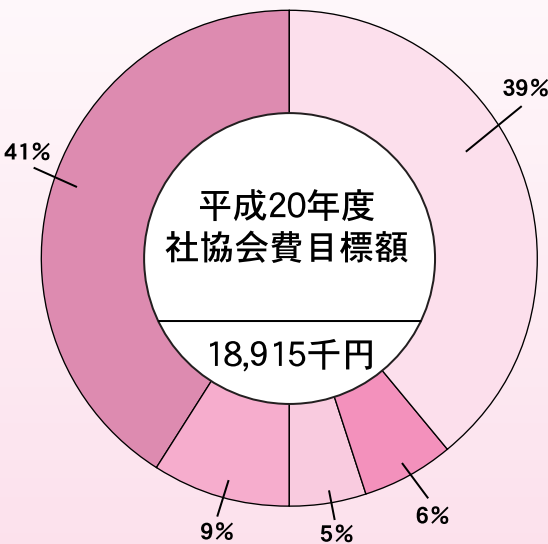
会費の主な使い道は、地域福祉の充実を進める「新・草の根事業」の事業費として七百四十三万一千円を予定しています。

また地域での福祉活動を支えていただいている自治会長の研修会や活動を広め、ご理解とご協力を得るための啓発活動事業等に百四十四万四千円、ボランティア団体や民生委員児童委員協議会など関連団体活動助成金に百三万六千円を支出して事業を展開します。そのほか、社会福祉協議会運営経費の一部として七百六十七万一千円を予定しています。

本年度も会員の皆様の会費を貴重な活動財源として、地域福祉の充実を図ってまいりますので、よろしくご協力をお願い致します。

地区	社協会費	日赤社費
酒田	400円	700円
八幡	1,500円	
松山	1,800円	
平田	1,500円	

「平成20年度社協会費目標額と使途」



- 地域福祉促進事業（新・草の根事業等）
- 自治会長研修会、福祉のつどい事業費、啓発事業費
- 助成金（ボランティア、民生委員児童委員協議会、福祉団体等）
- 負担金（県社協会費等）
- 理事会・評議員会、支部運営委員会、事務費等



八幡子育て支援事業ごろにゃんクラブ



▲日本赤十字救急法 講習会
(地域福祉センター)

酒田市新橋二丁目一番地の十九「酒田市地域福祉センター内」
酒田市社会福祉協議会総務課
〔電話〕（二三）五七六五

十日赤酒田市地区
赤十字は、災害救護や難民の救援など国内外で人道的な活動を行なっています。その経費は、皆さまからの社資（社費・寄附金）により支えられています。平成二十年度も赤十字事業にご理解をいただき、社費の納入についてご協力をお願いします。社費の納入をはじめ、日赤事業に対する問い合わせは日本赤十字社山形県支部酒田市地区までお願いします。

自分自身の健康のために 介護予防講座



▲松嶺地区介護予防講座

酒田市の高齢化率は平成二十年四月三十日現在で二十七・五％で平成十九年度と比較しても〇・七％上昇しています。

国は平成十八年四月、介護保険法を改正し、介護状態にならないための「介護予防」の推進を盛り込みました。

最近、「健康寿命」という言葉をよく耳にしますが、これは、私たちが生きていく中で、日常的に介護を必要とせず、元気で活動的に暮らすことができる期

間のことを言います。今日では、介護予防に対する認識を高め、健康寿命をいかに延ばすかに注目されています。

介護予防は日本全体の課題です。世界一の長寿国である日本は健康寿命においても世界一です。しかしそんな日本においても、最晩年に寝たきりなどになる期間が国民平均六年以上に及んでいるのが現状です。

社会福祉協議会では酒田市介護保険課の委託を受け各学区・地区社協単位で「介護予防講座」を開催しています。昨年度は延べ八千三百三十三人の方に参加いただきました。今年度も多くの方に参加していただくためにバスレクや手軽に出来る体操など、各学区・地区単位それぞれ地域の特徴を出した講座になるよう工夫しております。

介護予防講座は、次の四項目を目標に開催しています。

- 一・介護や予防できるという意識を学区・地区内の多くの人に広める。
- 二・地域の人が主体となる体制をつくり、地域で支えあいの意識を高める。



▲港南学区介護予防講座

- 三・自分のことは出来る限り自分で行なう習慣が身に付くようにする。
- 四・互いに支えあう仲間づくりを進める。

「介護予防講座」は自分の健康を自分自身で守るため、また楽しく健康づくりや仲間づくりを進めることの出来る講座ですので、皆さんぜひ参加してください。

（講座の募集は各学区・地区ごとに行います。）

私たちに相談してください

酒田市社会福祉協議会 介護サービス課事業紹介

それいけ！
我らの福祉隊♪

私たちは、利用者の尊厳を守り、常に利用者の立場に立ちながら、元気に明るくをモットーに「笑顔上手」「褒め上手」「聞き上手」「話し上手」の心を大切に利用者が安心して利用でき、信頼される事業活動を展開します。

酒田市地域包括支援センターにいだ
居宅介護支援事業所酒田市社会福祉協議会
訪問介護事業所酒田市社会福祉協議会



〒998-0864酒田市新橋2-1-19
TEL: 22-3506 (居宅・訪問)
TEL: 22-2640 (包括にいだ)

居宅介護支援事業所
酒田市デイサービスセンターいずみ
酒田市デイサービスセンターいずみ



〒998-0013酒田市東泉町4-6-13
TEL: 26-7345

居宅介護支援事業所
酒田市デイサービスセンター松山
酒田市デイサービスセンター松山



〒999-6862酒田市字西田6
TEL: 62-2843

○居宅介護支援とは

介護支援専門員(ケアマネージャー)が利用者の希望を伺いながら、状態に適した介護サービス計画(ケアプラン)を作り、事業者との調整を行います。介護保険の利用については、まず居宅介護支援事業所に相談してください。

○訪問介護(ホームヘルパー)とは

資格を持ったホームヘルパーが家庭を訪問し、入浴、排せつ、食事などの介護や掃除洗濯、炊事などの日常生活上の支援を行います。

○指定障害者福祉サービスとは

障害者自立支援法に基づき、障がいの種別にかかわらず訪問介護に準じたサービスを行ないます。

○通所介護(デイサービス)とは

指定の設備を整えた安全な施設から自宅まで迎えに伺い、日中の時間に入浴、食事の提供や、日常動作訓練、レクリエーションなどを行ないます。

○地域包括支援センターとは

地域住民の心身の健康維持や生活の安定保健・福祉・医療の向上、財産管理、虐待防止など様々な課題に対して地域における総合的なマネジメントを担い、課題解決に向けた取り組みを実践していくことを主な業務としています。(第2圏域 浜田・若浜・飛島学区担当)

地域の福祉力の向上を目指して

学区・地区社協活動紹介

現在、酒田市には三十二の学区・地区社会福祉協議会が設置されています（酒田地域二十三学区社協、八幡 四地区社協、松山 四地区社協、平田 一地区社協）。各学区・地区社協は、地域互助を基盤とする「新・草の根事業」を中心にそれぞれ地域の特徴を生かした取り組みを行なっています。中には独自に広報紙を発行し、事業紹介と共に学区社協を広く地域に周知しているところもあります。しかし自分の学区地区社協活動は知っていても、他地区の取り組みを皆さんご存知でしょうか。

学区・地区社協との連絡調整や相談の対応にあたる「地域あんしん事業」、サロン活動の充実を目指す「地域交流事業」、健康づくりと仲間づくりを目指す「介護予防講座」、これらの事業の総称であり、地域の事情にあわせて取り組んでいます。そこで本号より、学区・地区社協で取り組んでいる新・草の根事業で、特に力を入れて取り組まれている事業について、その状況や工夫していることなどを紹介していきます。

第一回目は、大沢地区社協、松原学区社協、南遊佐学区社協の活動を紹介します。



地区社協合同研修会の開催

大沢地区社会福祉協議会

大沢地区社会福祉協議会は平成十九年二月に設立しました。年度末も近かったため課題も多くありましたが、役員会を開催して検討した中で、今まで継続して実施してきた「うきうきサロン」の事業を地区全体で一方所でやれないかという話になり、合わせてふれあい給食、合同研修事業を同時にやることに決定し、会場を地区公民館で行うことにしました。

地域内での高齢者同士の交流は少なく、ぜひまた開催して欲しいという要望も出されました。平成十九年度は当初事業計画に盛り込み、十二月十六日に実施したところ、前年を大幅に上回る百六十七人の参加があり、「天中健晴陽」氏の講演、津軽三味線・歌と踊り等盛り沢山の内容で研修会を行ない、楽しい一日を過ごしました。今後も地域の皆さんの協力を得ながらより良い社協事業として取り組んでいきます。

集落毎に参加人数を取りまとめたところ、予想外の多人数となり、会場の変更を考えなければならぬ事態となりました。会場を大沢小学校の体育館として交渉した結果、快く引き受けていただき、さらに会場設営に全面的に協力してもらい、平成十九年三月八日盛大に開催することができました。

高齢者の集まりとなるため、会場までの送迎が大きな課題でしたが、市社協の協力で福祉バスを二台貸り、スムーズな運営ができ感謝しています。東西十数kmに及ぶ細長い地域のため、



▲長谷川三弦会酒田支部の皆さんによる「津軽三味線・唄と踊り」

三者合同会議で情報の共有化を図っています

松原学区社会福祉協議会

高齢社会を迎えて、一人暮らしや老夫婦世帯が増加し、死後の発見が遅れるなど、不慮の事態が発生したことから、酒田市

社会福祉協議会は学区社会福祉協議会と分担しながら、「自分の地域から一人の不幸も出さない、見逃さない」を合言葉に、「誰もが安心して暮らせる明るく住み良い福祉のまち」を目指して、平成三年度から三年がかりで市内二十三学区に、草の根地域福祉ネットワーク事業がスタートしたと認識しています。

現在は、「新・草の根事業」と名称は変わりましたが、その中に「見守りネットワーク事業」としてあり、各事業の中でも重要な事業とされています。

この事業を展開するにあたっては、自治会長をはじめ、民生委員児童委員、福祉協力員、福祉隣組員などがかわって、円滑に運営されていますが、その中でも三者による合同会議が大変重要と考えており、毎年、前

期後期の二回、東禅寺コミセンを会場に開催しています。

開催内容は、民生委員児童委員毎にグループをつくり、各グループは担当エリアの自治会長と福祉協力員で構成しています。

学区事務局からは、連記式の対象者名簿を民生委員児童委員の担当するネットワーク対象者毎に切り取って台紙に貼ったもので提示し、対象者の健康状態や暮らしの変化の有無、記載内容の変更や加筆事項などを話し合い、互いにその情報を共有確認しています。

書き込み、訂正などは自治会長が取りまとめ、事務局に提出し、事務局はネットワーク対象者台帳を会長の承認を得て整備しています。

またこの会議の他に民生委員児童委員の担当する自治会の三役や福祉協力員で行なう情報交換会も、徘徊者の対応等もあって大変有意義でした。

▼各グループによる情報交換会



みんなで参加介護予防講座

南遊佐学区社会福祉協議会

南遊佐学区社会福祉協議会の介護予防講座を紹介します。親しみやすいようにと名前は「マイ夢けんこう講座」としています。

毎回工夫して様々なメニューを企画していますが、認知症予防講座の中で「フラダンス体験」を取り入れたところ、四十三名の参加がありました。

地域のフラダンス愛好会の協力をいただいで、首にレイ、頭には花をつけ、満面の笑みで準備完了。手の動作や振り付けの練習をして「アロハの心」とい

う曲に合わせて踊りました。皆さんまるでフラガールです。踊っている最中、目は輝き、何とか覚えようと真剣に取り組んでいました。

予定の時間が過ぎても、参加者からは、「次のフラダンス講座はいつですか」「もう少し細かく教えてほしい」等次々と質問や要望が出され、真剣ながらも皆さん楽しんでいました。

このように介護予防講座が地域に定着するように、南遊佐学区社協役員はじめ、スタッフ一同協力して取り組んでいます。



▲マイ夢けんこう講座「フラダンス体験」参加者の皆さん

ご相談下さい
心配ごと相談所

【日時】 毎月第一・第三火曜日
午前九時三十分～午後三時まで

【場所】 酒田市地域福祉センター
(酒田市新橋二一十九)

【相談員】 酒田市社協心配ごと相談員

【費用】 無料

【電話】 二三一五七六五

相談により知り得た秘密は堅く守られますので、安心してご相談下さい。

移動無料法律相談

【日時】 七月九日(水) 午前
十時～午後三時まで

【場所】 酒田市老人福祉センター
「やまゆり荘」

【対象】 本市在住か勤務先のある方

【相談員】 加藤 栄弁護士

【相談内容】 一般法律相談

【申し込み】 酒田市社協八幡支部
☎六四一三七六五

※相談には予約が必要です。詳しくは酒田市社会福祉協議会八幡支部までお問合せ下さい。

＋赤十字「災害義援金」

●新潟県中越沖地震災害義援金
(平成19年7月16日発生)

氏名・団体名	金額(円)
八幡総合支所募金箱	373
酒田市社協平田支部募金箱	1,827
酒田市社協募金箱	511
本楯公民館募金箱	1,180
酒田市社協松山支部募金箱	1,400

平成20年4月末現在



酒田市社協へのご寄付

氏名・団体名	金額(円)	物品
孝祥寺	10,000	
(株)山形日情システムズ	1,000,000	
筒井美枝子(南新屋敷)	10,000	
酒田市立泉小学校児童会 サービスセンターいずみへ		車椅子1台
東京家政大学 本間高宏	10,000	
酒田遊技業協同組合	683,250	
酒田電気工事協同組合 彩の会	14,041	
庄内芸能ボランティアサークル心	30,000	
信夫一秋(麓)	50,000	
全国商工共済振興事業団山形支所		車椅子2台

共同募金(街頭・戸別・法人以外)

氏名・団体名	金額(円)	物品
光風学園家族会	14,450	

平成20年4月末現在

訂正とお詫び

前号の第9号に、赤十字災害義援金の記載で一部誤りがありました。正しくは下記のとおりです。訂正してお詫び申し上げます。

誤	琢成コミュニティ防災センター募金箱	20,733
↓		
正	琢成小学校児童会	20,733
	琢成学区コミュニティ防災センター募金箱	300

コラム ふれあい

編集委員長 吉村芳美

光太郎と智恵子抄にふれて

智恵子は東京に空が無いといふ。ほんとの空が見たいといふ。私は驚いて空を見る。桜若葉の間に在るのは、切っても切れない。むかしなじみのきれいな空だ。どんよりけむる地平のぼかしはうすもも色の朝のしめりだ。智恵子は遠くを見ながら言ふ。阿多多羅山の山の上に毎日出てゐる青い空が智恵子のほんとの空だといふ。あどけない空の話である。

高村光太郎が、智恵子抄の詩集を出したのは、昭和十六年八月で版を重ね、今手許にあるのは昭和十八年度版だが、戦後、結婚式のお祝いで重宝した記憶がある。二人は一緒になったが、智恵子が精神を病み、しかし紙絵の制作、切り紙は残り、詩人真壁仁の儘力で、昭和二十五年山形で、光太郎の講演と紙絵展があった事は忘れられない。